

本州最北端、陸奥湾をフェリーで横断

海の幸と温泉で
まったり

大間原発建設予定地と

三沢基地、津軽三厩 4日間

津軽鉄道で
のんびり

みんな

旅のポイント

- 大間原発の建設予定地に建つ「あさこハウス」を訪問、交流を予定
- アメリカ空軍基地である三沢基地を現地の方のご案内で巡り、基地問題を考える
- 六ヶ所村でPR館、サイクル施設（外観）を見学。現地の方より現状のお話を聞く

旅行期間

2020年 6月24日(水)～6月27日(土) 4日間
 7月15日(水)～7月18日(土) 4日間
 8月26日(水)～8月29日(土) 4日間
 9月23日(水)～9月26日(土) 4日間

旅行代金

124,000円(羽田空港発着)
 124,000円(羽田空港発着)
 125,000円(羽田空港発着)
 134,000円(羽田空港発着)

現地参加

上記より各19,000円引き(三沢空港集合・青森空港解散)

定員

20名様 最少催行人数:10名様

添乗員

羽田空港より同行いたします

申込締切

各出発日の21日前の営業日



● 三沢市と三沢基地

三沢空港は日本で唯一、米軍、航空自衛隊、民間航空会社が共同で使用している飛行場です。基本的には米空軍が管理する空軍基地であり、本州最大の規模で、日本国内では沖縄の嘉手納飛行場に次ぐ広さを持っています。

毎年秋には「航空祭」が実施され、ブルーインパルス等の航空機の展示飛行、外来機の地上展示、各種イベントが行われ多数の観衆が集まりますが、米軍の世界戦略に則って運用されているため、中東などで戦力が必要となれば配備されている戦闘機部隊を派遣することもあります。また米本土から空軍部隊の援軍を中東や南アジア方面に投入する時の中継地としても使用されます。



▲三沢基地航空祭の様子



▲三沢基地ゲート前

● あさこハウス

青森県の下北半島の最北端大間町に原発建設、それも世界初のフルMOX原発の計画が持ち上がったのは1980年代初頭でした。176名いた地権者たちは当初は建設に反対していたものの、買収に次々と応じ、最終的には熊谷あさ子さん一人だけが反対を続けます。原発建設予定地のほぼ真ん中に位置していた土地に2004年熊谷さんはログハウスをたて移り住みました。いやがらせなどにも屈せず闘い続け、現在は娘の小笠原厚子さんがその意思を引き継いでいます。全国から支援活動として、あさこハウスへ続く唯一の道路を守るため、はがきや手紙を送る活動がされています。



▲小笠原厚子さんとあさこハウス



※このチラシの写真は全てイメージです。

旅行企画・実施

(株) 富士国際旅行社